

年 組 名前：

「小立弁」題材にかるた



小立弁かるたを楽しむ参加者＝富士河口湖・小立福祉センター



赤池 悠、森 航平、高橋 咲良（富士北麓）
武田 寛明（大月・上野原）森 航平（都留）

次回サロンは11月14日、同センターで行われる。

小立地区民生委員は男性4人、女性8人の計12人で構成。古屋さんは11月末に現在のメンバーの任期が終了することから、「高齢者がかるたで昔をなつかしんだり、家に帰った時に話の種になったりする」として今年4月にかるたを制作した。かるたは総札と読み札ともに130枚ずつ用意。読み札は小立地区の方言に詳しい地域住民から助言を受けながら、使い方や話し方など、正確性に注意しながら古屋さんが中心となって作成した。ぬくもつて最高だわあ（温かくて最高）という一言を収めてある。内容は昔の風習や食べ物、面白い表現、歴史などさまじいジャンルがそろっている。8月1日には、小立社会福祉協議会が同町の小立福祉センターで開いたサロンで、小立地区民生委員がかるたを初披露した。小立地区に住む高齢者ら約70人がグループに分かれ、古屋さんが参加者にやさしいよう拡大したかるたを掲げながら、れを讀んだ。本来のかるたは獲得した枚数を競うが、今回はかるたに登場した方言のエピソードを語った人に100点のポイントを渡す得点制で行った。参加した三浦ななさん（97）は「普段使っている言葉が出てきて楽しかった。またやりたい」と笑顔を見せた。古屋さんは楽しんでもらえてよかった。今後、もかるたがでる環境をつくってほしいと話している。

富士河口湖・民生委員 高齢者の交流契機に

富士河口湖町の小立地区民生委員は、地域の高齢者が外に出る機会をつくらうと、小立地区の方言「小立弁」を題材にしたかるたを制作した。日常で会話している風景や郷土料理、歴史などを紹介する内容で、かるたをしながら方言に触れることができる。サロンなどの集会で活用しており、メンバーの古屋京子さん（69）は「コロナ禍以降、家にもついているお年寄りが外に出て仲間を増やし、健康づくりができるようにしたい」と話している。（高橋咲良）

（2025 年 10 月 7 日付 山梨日日新聞 15 面）

問1

富士河口湖町の小立地区民生委員が、「小立弁のかるた」を制作した理由を答えてください。

.....

問2

「小立弁のかるた」は、どのようなジャンルの内容を題材にしましたか。

.....

問3

あなたが使っている（または、知っている）方言と、その意味を書き出してください。

・方言：

・意味：